

(別紙1)

令和元年度～令和5年度 社会福祉法人回精福祉会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人回精福祉会		法人番号	1180005010496				
法人代表者氏名	理事長 野島洋美							
法人の主たる所在地	愛知県稲沢市井堀野口町18番地							
連絡先	0587-35-2000							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	_____							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和元年8月30日							
評議員会の承認年月日	令和元年8月30日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成30年度末現在)	1か年度目 (令和1年度末現在)	2か年度目 (令和2年度末現在)	3か年度目 (令和3年度末現在)	4か年度目 (令和4年度末現在)	5か年度目 (令和5年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	79,710 千円	79,710 千円	79,710 千円	79,710 千円	79,710 千円	0 千円		0 千円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	▲79,710 千円	▲79,710 千円	
本計画の対象期間	令和元年12月1日から令和6年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目						千円
	小計					
2か年度目						千円
	小計					
3か年度目						
	小計					
4か年度目						千円
	小計					
5か年度目	施設整備事業 (生活介護)	社会福祉事業	新規	知的、精神障害者である利用者を主とする障害者にやさしい生活介護事業所を施設整備する	有	344,000 千円
	小計					
合計						344,000 千円

※欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	社会福祉法人回精福祉会は、平成18年9月に知的障害者と精神障害者の授産施設を開設し、現在、いぼりの里定員40名、ワークいぼりの里定員30名、フレンドいぼりの里定員40名の3施設を運営している。他に、グループホームいぼりの里定員20名、障害者相談事業所いぼりの里もあり、多くの事業を運営している。運営方針は、「利用者主体」と「安全管理」であり、特にいぼりの里は、他の事業所で通うことができなかった利用者が多く通っており、稲沢市における最後の砦としての役目を果たしている。今後もその運営方針は変わらないが、利用者及びその家族からのニーズは多種多様であり事業の幅を広げていく方針である。また、近隣地区のあま市、津島市、愛西市からの利用者もあり、広域的な障害福祉サービスの提供も要望されている。施設整備においても他市町村からの要望があり、今後は広域的な検討も行わざるをえない状況となってきている。
② 地域公益事業	無
③ ①及び②以外の公益事業	無

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
施設整備事業(生活介護)	計画の実施期間における事業費合計	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	344,000 千円	344,000 千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	79,710 千円	79,710 千円
		補助金					95,910 千円	95,910 千円
		借入金					68,380 千円	68,380 千円
		事業収益					0 千円	0 千円
		その他					100,000 千円	100,000 千円

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	施設整備事業（生活介護）	
主な対象者	知的障害者と精神障害者	
想定される対象者数	定員20人	
事業の実施地域	稲沢市または近隣市町のあま市、津島市、愛西市などから選定する	
事業の実施時期	令和元年12月1日～令和6年3月31日	
事業内容	生活介護事業（新規事業所創設） 施設整備については、稲沢市、あま市、津島市、愛西市などの地域の中から選定し、各市町の障害福祉計画に沿って、知的障害者および精神障害者のための施設整備をする。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	稲沢市、あま市、津島市、愛西市などの地域の障害福祉計画に沿った事業の確認と、土地の選定と確保。（2か年）
	2か年度目	同上
	3か年度目	設計業者の選定、事前の基本設計、開発許可申請書を作成する。
	4か年度目	市町村へ施設整備計画書を提出する。 愛知県と国へ施設整備補助金申請を行う。
	5か年度目	補助金の内示、その後、実施設計、建築工事を行う。
事業費積算 （概算）	本体工事費	199,650千円
	共通仮設費	4,478千円
	現場・一般管理費	12,672千円
	事務用備品	3,100千円
	厨房備品	4,400千円
	送迎車両	3,500千円
	設計監理費	16,200千円
	土地取得費	100,000千円
	合計	344,000千円
	合計	344,000千円（うち社会福祉充実残額充当額 79,710千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	なし	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

(実施期間が5か年度を超える理由)

いぼりの里の利用者は、尾張西部圏域の稲沢市、一宮市及び海部圏域のあま市、津島市、愛西市の方です。今回の施設整備の土地の選定と確保については、この地域で検討しており、市町村や関係機関との調整を図りながら進めていきます。市町村の障害福祉サービスの需要と供給に照らして適切な施設整備となるよう市町村に相談することは不可欠であり、2人3脚で行うことが最善であるとも考えています。2年から3年かけ慎重に行います。その後、設計業者の選定、事前の基本設計、開発許可申請書の作成、市町村へ施設整備計画書の提出、愛知県と国へ施設整備補助金申請を行います。翌年には補助金の内示、その後、実施設計、建築工事とスムーズにいても5か年かかります。さらに、地域住民の同意が得られず難航するとさらに期間は伸びます。慎重に計画を進めるには5か年から7か年かかると考えています。